

## 2005年度 総会資料

## 議案 1. 2004年度事業報告

## 1. 会員数の動向(2005年3月31日現在)

会員数合計 …………… 4178(-63)

個人会員 …………… 3762(-50)

通常会員 …………… 825

一般 A 460

” B 225

学生 A 54

” B 17

高年 A 57

” B 12

特別会員 …………… 2937

一般 A 2075

” B 539

” C 22

” D 1

学生 A 205

” B 50

高年 A 42

” B 3

団体会員 …………… 365(-12)

団体 A 111

” B 144

” C 110

賛助会員 …………… 37(-1)

名誉会員 …………… 14(±0)

(括弧内は昨年との差であるが、会員種別の変更により細かな比較はしていない)

## 2. 機関誌等の刊行

(1) 天気 51巻4号～52巻3号 12冊(938頁、昨年度より24頁減)、各号4300～4400部印刷、電子ジャーナル版公開

(2) 気象集誌 82巻2号～83巻1号、6冊(1382頁、昨年度より223頁減)、各号1700部印刷、電子ジャーナル版公開

(3) 英文レター誌 SOLA 創刊(2005年1月)

(4) 気象研究ノート

ア 206号「北極振動」

181頁、2000部印刷

イ 207号「雪片の形成と融解—雪から雨へ—」

144頁、1700部印刷

## (5) 大会講演予稿集

ア 春季大会(85号) 471頁 1500部印刷

イ 秋季大会(86号) 535頁 1500部印刷

## 3. 会議等の開催

(1) 総会 2004年5月17日 学術総合センター

(出席者108名、総会参加票1833名)

ア 2003年度事業報告・決算報告、2004年度事業計画・予算が承認された。

イ 日本気象学会定款・細則の一部改正が承認された。

ウ 第33期日本気象学会役員を選任が承認された。

## (2) 理事会

第32期(第7回) 2004年5月16日、東京

第32期・33期新旧理事・監事合同会議

2004年6月15日、東京

第33期(第1回) 2004年6月15日、東京

第33期(第2回) 2004年10月6日、福岡

第33期(第3回) 2005年3月7日、東京

## (3) 常任理事会

第32期(第20回) 2004年4月7日、東京

第32期(第21回) 2004年5月16日、東京

第32期(第22回) 2004年6月15日、東京

第33期(第1回) 2004年7月26日、東京

第33期(第2回) 2004年9月2日、東京

第33期(第3回) 2004年10月6日、福岡

第33期(第4回) 2004年11月15日、東京

第33期(第5回) 2004年12月13日、東京

第33期(第6回) 2005年1月19日、東京

第33期(第7回) 2005年2月9日、東京

第33期(第8回) 2005年3月7日、東京

## (4) 評議員会

第33期(第1回) 2005年3月7日

会場：東京管区気象台会議室

—外部に対し開かれた学会活動のあり方—

## 4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会 2004年5月16-19日  
 会場：気象庁、学術総合センター、学士会館  
 (担当：気象庁)  
 シンポジウム：2003年の日本の冷夏  
 -異常気象をどこまで理解・予測できるか-
- (2) 秋季大会 2004年10月6-8日  
 会場：アクロス福岡  
 (担当：九州支部)  
 シンポジウム：極東域の温帯低気圧
- (3) 研究連絡会  
 ア IGBP/GAIM 研究連絡会 (第26回)  
 福岡 2004年10月9日  
 イ 極域・寒冷域研究連絡会  
 東京 2004年5月18日  
 福岡 2004年10月8日  
 ウ メソ気象研究連絡会 (第23, 24回)  
 東京 2004年5月15日  
 福岡 2004年10月5日  
 エ オゾン研究連絡会  
 東京 2004年5月18日  
 福岡 2004年10月6日  
 オ 地球観測衛星研究連絡会  
 福岡 2004年10月6日  
 カ THORPEX 研究会 (第1回)  
 福岡 2004年10月9日  
 キ 非静力学数値モデル研究連絡会 (第6回)  
 仙台 2004年11月25-26日  
 ク 天気予報研究連絡会 (第2回)  
 東京 2005年2月18日
- (4) 月例会  
 ア 第48回山の気象シンポジウム  
 東京 2004年6月19日  
 イ 長期予報と大気大循環  
 東京 2004年11月1日
- (5) 第16回夏の学校  
 宮城県鳴瀬町 2004年7月23-25日
- (6) 他学会との共催等  
 ア 第41回理工学における同位元素研究発表会  
 (共催) 2004年7月7-9日 (東京)

- イ アジア-オセアニア地球科学学会 (AOGS) 第1  
 回年会 (共催)  
 2004年7月7-9日 (シンガポール)
- ウ 第21回エアロノミクス・技術研究討論会 (共  
 催) 2004年8月4-6日 (札幌)
- エ 第18回風工学シンポジウム (共催)  
 2004年12月1-3日 (東京)
- オ 第54回理論応用力学講演会 (共催)  
 2005年1月25-27日 (東京)
- カ 第51回風に関するシンポジウム (共催)  
 2005年1月28日 (東京)

## 5. 研究業績の表彰

- (1) 日本気象学会賞  
 中村 尚 東京大学大学院理学系研究科  
 木本 昌秀 東京大学気候システム研究センター
- (2) 藤原賞  
 笹野 泰弘 国立環境研究所  
 山本 孝二 株式会社ハルックス
- (3) 山本・正野論文賞  
 須藤 健悟 海洋研究開発機構 地球環境フロン  
 ティア研究センター  
 田口 正和 米国科学財団研究員 (ワシントン大学)
- (4) 堀内賞  
 福西 浩 東北大学大学院理学研究科  
 若土 正暁 北海道大学低温科学研究所
- (5) 奨励賞  
 中村 直治 東京管区気象台  
 箕輪 敏行 神奈川県気象連絡会

## 6. 支部研究活動

- (1) 北海道支部  
 ア 第1回研究発表会 (札幌) 2004年6月9日  
 イ 第2回研究発表会 (札幌) 2004年12月15日
- (2) 東北支部  
 ア 気象研究会 (仙台) 2004年11月30日  
 -ヤマセ・冷夏、一般-
- (3) 中部支部  
 ア 支部研究会 (名古屋) 2004年11月18-19日
- (4) 関西支部  
 ア 年会 (大阪) 2004年6月19日  
 イ 例会 (岡山) 2004年11月6日

(高松) 2004年11月26日

(神戸) 2005年2月22日

—海洋と気象—

(5) 九州支部

ア 支部発表会(福岡) 2005年3月5日

(6) 沖縄支部

ア 第33回例会(宮古島) 2004年11月25-26日

7. 普及活動

(1) 本部

ア 第38回夏季大学、2004年8月4-6日

気象大学校

「新しい気象学」—気象実験—

イ 気象技術講習会(気象業務支援センターとの共催)

(ア) 気象学の基礎(第9回)

2004年2月-4月(毎週水曜日)

(イ) 気象学の基礎(第10回)

2004年8月-10月(毎週水曜日)

(ウ) 気象学の基礎(第11回)

2005年2月-4月(毎週水曜日)

(エ) 専攻課程講習会(台風)

2005年2月3-4日

(2) 北海道支部

ア 第22回夏季大学 2004年7月26-27日(札幌)

第1日目 札幌市青少年科学館

第2日目 札幌管区気象台

—新しい気象—

イ 気象講演会 2004年10月23日(千歳市)

—風と私たちの生活—

(3) 東北支部

ア 気象講演会 2004年11月12日(秋田)

「異常気象に生きる—ブナや稲の護身術—」

(4) 中部支部

ア 第11回公開気象講座 2004年8月24日

(名古屋) —台風研究の最前線—

(5) 関西支部

ア 第26回夏季大学 2004年8月1-2日(神戸)

—身近な気象学—

(6) 九州支部

ア 気象教室 2004年8月29日(福岡) —台風—

(7) 沖縄支部

ア 防災気象講演会(豊見城) 2004年7月13日

—台風に備える、他—

イ 親子のお天気教室(豊見城) 2004年8月3日

8. 国際学術交流活動

(1) 日中韓の気象学会の交流

中国気象学会80周年記念大会への参加

住 理事(2004年10月、北京)

(2) 国際学術研究集会参加補助(4名)

ア 第14回雲・降水の国際会議(ICCP)

(ボローニャ(イタリア)、2004年7月)

大東 忠保(名古屋大学)

茂木 耕作(名古屋大学)

清水 慎吾(名古屋大学)

イ Stratospheric Process and their Role in Climate(ビクトリア(カナダ)、2004年8月)

久保 博司(九州大学)

(3) 国内開催の国際学術研究集会への補助

ア GCCA5 国際集会への開催補助

(つくば、2004年11月)

9. 電子情報関連

(1) 学会ホームページ管理運営

(2) メーリングリストの管理運営

10. その他

(1) 地球物理学関連学会長等懇談会への参加

(2) 地球環境科学関連学会協議会への参加

(3) 日本地球惑星科学連合設立準備会への参加

## 議案 2. 2004年度収支決算報告

## 2-1 総括表

## 収支計算書総括表

2004年 4月 1日から2005年 3月31日まで

(社)日本気象学会

(単位:円)

科 目	合 計	公益会計	収益会計	
【収入の部】				
会 費 収 入	37,612,625	37,612,625	0	
基 本 財 産 運 用	87,698	87,698	0	
事 業 収 入	41,846,822	26,238,935	15,607,887	
補 助 金 収 入	5,700,000	5,700,000	0	
寄 付 金 収 入	31,000	31,000	0	
引 当 預 金 取 崩 収 入	994,728	994,728	0	
雑 収 入	275,159	275,159	0	
繰 入 金 収 入	225,871	225,871	0	
当期収入合計(A)	86,773,903	71,166,016	15,607,887	
前 期 繰 越 収 支 差 額	16,835,318	13,462,836	3,372,482	
収入合計(B)	103,609,221	84,628,852	18,980,369	
【支出の部】				
事 業 費	60,268,492	54,514,904	5,753,588	
管 理 費	27,936,910	20,843,595	7,093,315	
法 人 税 等	1,150,400	0	1,150,400	
繰 入 金 支 出	225,871	0	225,871	
当期支出合計(C)	89,581,673	75,358,499	14,223,174	
当期収支差額(A)-(C)	△ 2,807,770	△ 4,192,483	1,384,713	
次期繰越収支差額(B)-(C)	14,027,548	9,270,353	4,757,195	

## 貸借対照表総括表

2005年 3月31日現在

(社)日本気象学会

(単位:円)

科 目	合 計	公益会計	収益会計	
【資産の部】				
流動資産	34,811,481	27,349,595	7,461,886	
固定資産				
基本財産	53,980,000	53,980,000	0	
その他の固定資産	11,376,235	11,376,235	0	
固定資産合計	65,356,235	65,356,235	0	
資産合計	100,167,716	92,705,830	7,461,886	
【負債の部】				
流動負債	27,990,986	27,990,986	0	
固定負債	639,268	639,268	0	
負債合計	28,630,254	28,630,254	0	
【正味財産の部】				
正味財産	71,537,462	64,075,576	7,461,886	
負債及び正味財産合計	100,167,716	92,705,830	7,461,886	

## 正味財産増減計算書総括表

2004年 4月 1日から2005年 3月31日まで

(社)日本気象学会

(単位:円)

科 目	合 計	公益会計	収益会計	
【増加の部】				
資産増加額	74,942	490	74,452	
負債減少額	994,728	994,728	0	
増加額合計	1,069,670	995,218	74,452	
【減少の部】				
資産減少額	4,105,233	5,489,946	△ 1,384,713	
負債増加額	490	490	0	
減少額合計	4,105,723	5,490,436	△ 1,384,713	
当期正味財産減少額	3,036,053	4,495,218	△ 1,459,165	
前 期 繰 越 正 味 財 産 額	74,573,515	68,570,794	6,002,721	
期末正味財産合計額	71,537,462	64,075,576	7,461,886	

財産目録総括表  
2005年3月31日現在

(社)日本気象学会

(単位:円)

科 目	合 計	公益会計	収益会計	
<b>【資産の部】</b>				
<b>流動資産</b>				
現金 預 金	32,106,790	27,349,595	4,757,195	
現金 現金手許有高	224,173	0	224,173	
普 通 預 金	8,756,639	4,554,494	4,202,145	
みずほ銀行 丸之内支店	8,691,601	4,489,456	4,202,145	
中央三井信託銀行 本店営業部	2,774	2,774	0	
UFJ銀行 東京営業部	62,264	62,264	0	
郵 便 振 替 貯 金	23,125,978	22,795,101	330,877	
中央郵便局	23,125,978	22,795,101	330,877	
棚 卸 資 産	2,704,691	0	2,704,691	
流動資産合計	34,811,481	27,349,595	7,461,886	
<b>固定資産</b>				
<b>基本財産</b>				
貸 付 信 託 ・ 預 金	22,370,000	22,370,000	0	
住友信託銀行 (基本金)	10,000,000	10,000,000	0	
UFJ銀行① (山本・正野論文賞)	6,500,000	6,500,000	0	
UFJ銀行② (基本金)	1,750,000	1,750,000	0	
UFJ銀行③ (堀内賞)	600,000	600,000	0	
中央三井信託① (藤原賞)	3,520,000	3,520,000	0	
公 社 債 信 託	31,610,000	31,610,000	0	
野村証券 (国際学術交流基金)	16,540,000	16,540,000	0	
大和証券 (国際学術交流基金)	9,420,000	9,420,000	0	
日興コディック証券 (堀内賞)	5,650,000	5,650,000	0	
基本財産合計	53,980,000	53,980,000	0	
<b>その他の固定資産</b>				
金 銭 信 託 (退 職 引 当 預 金)	639,268	639,268	0	
中央三井信託②	639,268	639,268	0	
地 方 債 券 (事 業 資 金 積 立 預 金)	9,910,765	9,910,765	0	
什 器 備 品	826,202	826,202	0	
その他の固定資産合計	11,376,235	11,376,235	0	
固定資産合計	65,356,235	65,356,235	0	
資産合計	100,167,716	92,705,830	7,461,886	
<b>【負債の部】</b>				
<b>流動負債</b>				
通 常 会 員 前 受 会 費	6,447,280	6,447,280	0	
一般A	3,095,580	3,095,580	0	
一般B	2,677,550	2,677,550	0	
学生A	217,750	217,750	0	
学生B	119,800	119,800	0	
高年A	239,400	239,400	0	
高年B	97,200	97,200	0	
特 別 会 員 前 受 会 費	20,811,691	20,811,691	0	
一般A	13,152,501	13,152,501	0	
一般B	6,363,030	6,363,030	0	
学生A	705,950	705,950	0	
学生B	275,400	275,400	0	
高年A	180,600	180,600	0	
高年B	24,300	24,300	0	
一般C	109,910	109,910	0	
預 り 金	732,015	732,015	0	
懇親会費	63,000	63,000	0	
藤田資金	430,120	430,120	0	
その他預り金	238,895	238,895	0	
流動負債合計	27,990,986	27,990,986	0	
<b>固定負債</b>				
退 職 金 引 当 金	639,268	639,268	0	
固定負債合計	639,268	639,268	0	
負債合計	28,630,254	28,630,254	0	
正味財産	71,537,462	64,075,576	7,461,886	

2-2 収支計算書

収 支 計 算 書

2004年 4月 1日から2005年 3月31日まで

(社)日本気象学会  
公益会計

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
【収入の部】				
会 費 収 入	[ 38,139,000]	[ 37,612,625]	[ 526,375]	
通 常 会 員 会 費	29,331,000	29,221,691	109,309	
特 別 会 員 会 費	1,050,000	1,124,844	△ 74,844	
団 体 会 員 会 費	5,108,000	4,797,035	310,965	
賛 助 会 員 会 費	2,650,000	2,469,055	180,945	
基 本 財 産 運 用	[ 89,000]	[ 87,698]	[ 1,302]	
基 本 本 金	38,000	37,520	480	
藤 原 賞	1,000	1,586	△ 586	
山 本 ・ 正 野 論 文 賞	16,000	15,968	32	
堀 内 賞	1,000	6,919	△ 5,919	
国 際 交 流 基 金	33,000	25,705	7,295	
事 業 収 入	[ 21,580,000]	[ 26,238,935]	[△ 4,658,935]	
天 象 集 誌	1,043,000	1,265,130	△ 222,130	
S O L A	8,932,000	13,656,225	△ 4,724,225	
予 稿 集	900,000	504,000	396,000	
大 会 開 催	6,027,000	6,063,570	△ 36,570	
教 育 と 普 及	3,857,000	4,097,000	△ 240,000	
そ の 他 事 業 収 入	790,000	635,900	154,100	
補 助 金 収 入	31,000	17,110	13,890	
補 科 学 研 究 費	[ 4,900,000]	[ 5,700,000]	[△ 800,000]	
寄 付 金 収 入	4,900,000	5,700,000	△ 800,000	
寄 付 金 収 入	[ 0]	[ 31,000]	[△ 31,000]	
引 当 預 金 取 崩 収 入	0	31,000	△ 31,000	
退 職 引 当 預 金 取 崩 収 入	[ 0]	[ 994,728]	[△ 994,728]	
雑 収 入	0	994,728	△ 994,728	
受 取 利 息	[ 614,000]	[ 275,159]	[ 338,841]	
著 作 権 複 写 許 可 料	2,000	15,691	△ 13,691	
そ の 他	347,000	232,849	114,151	
繰 入 金 収 入	265,000	26,619	238,381	
繰 入 金 収 入	[ 0]	[ 225,871]	[△ 225,871]	
収 益 会 計 繰 入 金 収 入	0	225,871	△ 225,871	
当期収入合計(A)	65,322,000	71,166,016	△ 5,844,016	
前期繰越収支差額	13,462,836	13,462,836	0	
収入合計(B)	78,784,836	84,628,852	△ 5,844,016	
【支出の部】				
事 業 費	[ 52,246,000]	[ 54,514,904]	[△ 2,268,904]	
天 象 集 誌	23,920,000	22,325,685	1,594,315	
S O L A	15,242,000	19,801,633	△ 4,559,633	
予 稿 集	1,600,000	1,297,275	302,725	
大 会 開 催	2,223,000	2,094,699	128,301	
教 育 と 普 及	5,668,000	5,912,471	△ 244,471	
表 彰 ・ 奨 励	774,000	567,460	206,540	
国 際 学 術 交 流 会	1,986,000	1,123,252	862,748	
そ の 他 委 員 会	624,000	545,612	78,388	
研 究 連 絡 会	0	465,222	△ 465,222	
そ の 他 事 業 費	186,000	331,595	△ 145,595	
管 理 費	23,000	50,000	△ 27,000	
人 件 費	[ 20,079,000]	[ 20,843,595]	[△ 764,595]	
退 職 金	12,104,000	11,586,026	517,974	
事 務 局 連 経 費	0	993,000	△ 993,000	
電 子 情 報	4,226,000	3,823,366	402,634	
電 算 機 開 発 管 理 会	116,000	13,466	102,534	
電 算 機 開 発 管 理 会	282,000	494,262	△ 212,262	
総 会 役 員 会	1,327,000	1,602,546	△ 275,546	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
支 部 交 付 金	1,802,000	1,879,350	△ 77,350	
租 税 公 課	222,000	355,744	△ 133,744	
そ の 他	0	95,835	△ 95,835	
予 備 費	[ 200,000]		[ 200,000]	
当期支出合計(C)	72,525,000	75,358,499	△ 2,833,499	
当期収支差額(A)-(C)	△ 7,203,000	△ 4,192,483	△ 3,010,517	
次期繰越収支差額(B)-(C)	6,259,836	9,270,353	△ 3,010,517	

## 収 支 計 算 書

2004年 4月 1日から2005年 3月31日まで

(社)日本気象学会

収益会計

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
【収入の部】				
事 業 収 入	[ 18,892,000]	[ 15,607,887]	[ 3,284,113]	
天 象 集 誌	5,362,000	3,221,115	2,140,885	
気 象 研 究 ノ ー ト	2,508,000	2,023,919	484,081	
予 稿 集	7,541,000	6,339,863	1,201,137	
書 店 扱 い	680,000	487,500	192,500	
雑 収 入	2,801,000	3,535,490	△ 734,490	
著 作 権 複 写 許 可 料	[ 44,000]	[ 0]	[ 44,000]	
	44,000	0	44,000	
当期収入合計(A)	18,936,000	15,607,887	3,328,113	
前 期 繰 越 収 支 差 額	3,372,482	3,372,482	0	
収 入 合 計(B)	22,308,482	18,980,369	3,328,113	
【支出の部】				
事 業 費	[ 7,418,000]	[ 5,753,588]	[ 1,664,412]	
天 象 集 誌	2,521,000	978,915	1,542,085	
気 象 研 究 ノ ー ト	1,137,000	1,163,265	△ 26,265	
予 稿 集	3,725,000	3,588,148	136,852	
管 理 費	35,000	23,260	11,740	
管 理 費	[ 6,895,000]	[ 7,093,315]	[△ 198,315]	
人 件 費	4,018,000	4,193,009	△ 175,009	
事 務 局 関 連 経 費	1,409,000	1,274,456	134,544	
電 子 情 報	39,000	4,489	34,511	
電 算 機 開 発 管 理	94,000	164,754	△ 70,754	
総 会 役 員 会	442,000	534,956	△ 92,956	
支 部 交 付 金	617,000	626,450	△ 9,450	
租 税 公 課	276,000	263,256	12,744	
そ の 他	0	31,945	△ 31,945	
法 人 税 等	[ 1,000,000]	[ 1,150,400]	[△ 150,400]	
繰 入 金 支 出	[ 0]	[ 225,871]	[△ 225,871]	
公 益 会 計 へ 繰 入 金 支 出	0	225,871	△ 225,871	
予 備 費	[ 100,000]		[ 100,000]	
当期支出合計(C)	15,413,000	14,223,174	1,189,826	
当期収支差額(A)-(C)	3,523,000	1,384,713	2,138,287	
次期繰越収支差額(B)-(C)	6,895,482	4,757,195	2,138,287	

## 2-3 貸借対照表

貸借対照表  
2005年 3月31日現在

(社)日本気象学会  
公益会計

(単位:円)

科 目	金 額	
【資産の部】		
流動資産		
現金預金	27,349,595	
流動資産合計		27,349,595
固定資産		
基本財産		
貸付信託預金	22,370,000	
公社債信託	31,610,000	
基本財産合計	53,980,000	
その他の固定資産		
金銭信託(退職引当預金)	639,268	
地方債券(事業資金積立預金)	9,910,765	
什器備品	826,202	
その他の固定資産合計	11,376,235	
固定資産合計		65,356,235
資産合計		92,705,830
【負債の部】		
流動負債		
通常会員前受会費	6,447,280	
特別会員前受会費	20,811,691	
預り金	732,015	
流動負債合計		27,990,986
固定負債		
退職金引当金	639,268	
固定負債合計		639,268
負債合計		28,630,254
【正味財産の部】		
正味財産		64,075,576
(うち基本金)		( 53,980,000)
(うち当期正味財産減少額)		( 4,495,218)
負債及び正味財産合計		92,705,830

貸借対照表  
2005年 3月31日現在

(社)日本気象学会  
収益会計

(単位:円)

科 目	金 額	
【資産の部】		
流動資産		
現金預金	4,757,195	
棚卸資産	2,704,691	
流動資産合計		7,461,886
資産合計		7,461,886
【正味財産の部】		
正味財産		7,461,886
(うち当期正味財産増加額)		( 1,459,165)
負債及び正味財産合計		7,461,886

## 2-4 正味財産増減計算書

## 正味財産増減計算書

2004年 4月 1日から2005年 3月31日まで

(社)日本気象学会

公益会計

(単位:円)

科 目	金 額		
【増加の部】			
資産増加額			
退職引当預金増加額	490	490	
負債減少額			
退職引当金取崩額	994,728	994,728	
増加額合計			995,218
【減少の部】			
資産減少額			
当期収支差額	4,192,483		
退職預金取崩額	994,728		
什器備品減少額	302,735	5,489,946	
負債増加額			
退職引当金繰入額	490	490	
減少額合計			5,490,436
当期正味財産減少額			4,495,218
前期繰越正味財産額			68,570,794
期末正味財産合計額			64,075,576

## 正味財産増減計算書

2004年 4月 1日から2005年 3月31日まで

(社)日本気象学会

収益会計

(単位:円)

科 目	金 額		
【増加の部】			
資産増加額			
当期収支差額	1,384,713		
棚卸資産増加額	74,452	1,459,165	
負債減少額			
増加額合計			1,459,165
【減少の部】			
資産減少額			
負債増加額			
減少額合計			0
当期正味財産増加額			1,459,165
前期繰越正味財産額			6,002,721
期末正味財産合計額			7,461,886

## 2-5 財産目録

財産目録  
2005年 3月31日現在

(社)日本気象学会  
公益会計

(単位:円)

科 目	金 額	
【資産の部】		
流動資産		
現金預金	27,349,595	
普通預金	4,554,494	
みずほ銀行 丸之内支店	4,489,456	
中央三井信託銀行 本店営業部	2,774	
UFJ銀行 東京営業部	62,264	
郵便替貯金	22,795,101	
中央郵便局	22,795,101	
流動資産合計		27,349,595
固定資産		
基本財産		
貸付信託・預金	22,370,000	
住友信託銀行(基本金)	10,000,000	
UFJ銀行①(山本・正野論文賞)	6,500,000	
UFJ銀行②(基本金)	1,750,000	
UFJ銀行③(堀内賞)	600,000	
中央三井信託①(藤原賞)	3,520,000	
公社債信託	31,610,000	
野村証券(国際学術交流基金)	16,540,000	
大和証券(国際学術交流基金)	9,420,000	
日興コーディアル証券(堀内賞)	5,650,000	
基本財産合計	53,980,000	
その他の固定資産		
金銭信託(退職引当預金)	639,268	
中央三井信託②	639,268	
地方債券(事業資金積立預金)	9,910,765	
什器備品	826,202	
その他の固定資産合計	11,376,235	
固定資産合計		65,356,235
資産合計		92,705,830
【負債の部】		
流動負債		
通常会員前受会費	6,447,280	
一般A	3,095,580	
一般B	2,677,550	
学生A	217,750	
学生B	119,800	
高年A	239,400	
高年B	97,200	
特別会員前受会費	20,811,691	
一般A	13,152,501	
一般B	6,363,030	
学生A	705,950	
学生B	275,400	
高年A	180,600	
高年B	24,300	
一般C	109,910	
預り金	732,015	
懇親会費	63,000	
藤田資金	430,120	
その他預り金	238,895	
流動負債合計		27,990,986
固定負債		
退職金引当金	639,268	

科 目	金 額	
固定負債合計	639,268	
負債合計		28,630,254
正味財産		64,075,576

財産目録  
2005年 3月31日現在

(社)日本気象学会

収益会計

(単位:円)

科 目	金 額	
【資産の部】		
流動資産		
現金 預 金	4,757,195	
現金 現金手許有高	224,173	
普通 預 金	4,202,145	
みずほ銀行 丸之内支店	4,202,145	
郵便振替 貯 金	330,877	
中央郵便局	330,877	
棚 卸 資 産	2,704,691	
流動資産合計		7,461,886
資産合計		7,461,886
正味財産		7,461,886

## 2-6 計算書類に対する注記

## (1)重要な会計方針

- 1) 有価証券の評価基準及び評価方法・・・総平均法による原価基準を採用している。
- 2) 固定資産の減価償却・・・什器備品は定率法による減価償却を実施している。
- 3) 引当金の計上基準・・・退職給与引当金は期末退職給与の要求額に相当する金額を計上している。
- 4) 資金の範囲・・・現金預金、預かり金及び前受け金を含めることとしている。

## (2)次期繰越額の内容は次の通りである。

科目	当期末残高	公益部門	収益部門
現金	¥224,173	¥0	¥224,173
普通預金	¥8,756,639	¥4,554,494	¥4,202,145
郵便振替貯金	¥23,125,978	¥22,795,101	¥330,877
事業資金積立預金	¥9,910,765	¥9,910,765	¥0
合計	¥42,017,555	¥37,260,360	¥4,757,195
前受会費	¥27,258,971	¥27,258,971	¥0
預り金	¥732,015	¥732,015	¥0
退職引当預金	¥639,268	¥639,268	¥0
会計収支繰越額	¥14,027,548	¥9,270,353	¥4,757,195

## (3)基本財産の増減及びその残高は次の通りである。

科目	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本金	¥0	¥0	¥11,750,000
藤原賞	¥0	¥0	¥3,520,000
山本・正野論文賞	¥0	¥0	¥6,500,000
国際学術交流基金	¥0	¥0	¥25,960,000
堀内賞	¥0	¥0	¥6,250,000
合計	¥0	¥0	¥53,980,000

## (4)固定資産の原価償却額及び当期末残高は次の通りである。

科目	前期末残高	減価償却額	当期末残高
什器備品	¥1,128,937	¥302,735	¥826,202

## 議案 3. 監査報告書

## 2004年度社団法人日本気象学会監査報告

2004年度社団法人日本気象学会財産及び業務執行の監査結果を次の通り報告する。

1. 監査月日  
2005年4月6日(水)
2. 監査場所  
東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁内  
日本気象学会事務局
3. 監査帳簿
  - (1) 2004年度収支計算書
  - (2) 総勘定元帳、仕訳帳
  - (3) 現金出納帳
  - (4) 普通預金明細表
  - (5) 郵便振替受払通知票
  - (6) 領収書類
  - (7) 財産目録
  - (8) 預金証書、預金通帳、郵便振替小切手帳および残高証明書
  - (9) 備品台帳
  - (10) 2004年度事業報告書
4. 監査内容
  - (1) 2004年度収支計算書およびその他の計算書について、その経理状況を監査すると共に財政状況を調べた。
  - (2) 上記の帳簿類について照合を行うと共に出納状況記載事項の監査を実施した。
  - (3) 学会の運営状況を聴取し意見を述べた。

## 5. 監査意見

2004年度(2004年4月1日から2005年3月31日まで)の会計に関する帳簿類は、照合の結果、正確であり、収支計算書その他の計算書は正しいと認める。

2004年度の収支は、公益事業が約419万円の赤字、収益事業は約138万円の黒字になり、差し引き当期収支差額は約281万円の赤字であった。今年度の赤字については、次に述べる、会員減少により会費収入が減少したことが大きな要因に挙げられる。事務局経費については削減努力が行われており、また2006年度からは大会参加費のあり方の見直しなども検討されている。繰越金(約1,400万円)の規模

から、現時点ではこの赤字額はそれほど問題視する必要はないが、収支状況の健全性については引き続き注意していく必要がある。

会員数については、1999年度以降減少傾向が続いていて、この一年間については、個人会員は50名、団体会員は7件の減少となった。個人会員減少数はここ数年の内では少ない方で、僅かに下げ止まりの傾向が見られるものの、減少傾向に確実に歯止めがかかったとは言えない。これと共に、会費収入も2000年度の4,115万円から2004年度は3,761万円に減少している。より多くの方々に学会に参加頂くために、気象予報士会に対して気象学会から主体的な働きかけを強めていくことや教育普及活動の推進など、長期的な視野に立った努力が必要である。

2004年度には会員制度の見直しが行われた。このうち高年会員の開設は、学会の間口を広げ、会員間の交流を通して学会と社会の結びつきをより強くすることに寄与するものと期待される。

国際学術交流事業は、前年度まで予算の執行率が低い状況が続いたが、2004年度は若手会員の国際学術研究会参加補助や国際学術集会への開催補助の支出で90%近い執行率であった。今年度は第1回東アジア気象学会合同国際シンポジウムが開催予定で、こうした国際交流活動がさらに進展しつつあることを評価したい。

2004年度には電子レター誌「SOLA」が創刊された。電子媒体の速報性と流通性といったメリットが生かされ、気象学に関わる研究活動の更なる活性化、多様化が図られることに期待する。

この1年間、様々な学会活動に熱心に取り組んでこられた理事、各委員会委員、事務局の努力に敬意を表する。

2005年4月8日

監事 齊藤和雄 

監事 高野功 

#### 議案 4. 細則の一部改定について

学会の活動を維持し発展させてゆく上で、その活動拠点としての各種委員会の活性化は重要である。また、新しい企画や事業を展開するためにも、新しい委員会などの設置が今後にも必要にもなる。そういう観点から、委員会の委員のみならず、委員長などの牽引役にも学会の広い範囲から人材を結集する事が肝要である。

そのような考えの一環として、ここでは、現細則では制限されている出版物の委員会の委員長に、理事に限らず適任の人が就くことができる仕組みを作り、学会の人材が活動できる場を拡大するため、関連細則の一部を次のように改定する。

なお、現細則にある「編集委員会」は、改定後には特に編集という制約を設けず出版物毎の適切な名称が付けられるよう、単に「委員会」としておく。ただし、出版物刊行に責任をもつため、理事の一人以上は担当理事としてその刊行のための委員会に参加していなければならないこととする。

以上から、日本気象学会細則第19条を、

第19条 本会の出版物の編集のため、各誌毎に理事を主任とする編集委員会をおく。

を

第19条 本会の出版物（紙および電子媒体など）の発行のため、出版物毎に担当理事を含む委員会をおく。

と改定する。

## 議案 5. 理事の辞任に伴う後任の推薦について

日本気象学会第33期の理事数名から、理事を辞任したいとの希望が理事長に対して提出され、日本気象学会定款第21条の規定に従って理事会としてこれを承認しました。また、後任の理事候補としては、日本気象学会細則第6条第11項の規定により、理事会の議を経て、各所属支部から推薦のあった会員を理事長から推薦することにいたしました。総会で審議していただくようお願いいたします。

なお、今回辞任された理事と、後任理事候補者及び各支部からの推薦書は以下の通りです（敬称略）。

辞任理事：菊池 正（北海道地区選出）

栗原 弘一（東北地区選出）

中村 和信（中部地区推薦）

米谷 恒春（沖縄地区推薦）

後任理事候補者：松村 崇行（北海道地区）

宇平 幸一（東北地区）

湯田 憲一（中部支部）

中村 誠臣（沖縄地区）

### ○ 北海道地区

候補者：松村 崇行 会員

生年月日：1963年9月6日

所属：気象庁札幌管区気象台

推薦理由：

松村会員は、気象庁予報部数値予報課においてモデル開発業務に長年従事し、特に、全球グループのリーダーとして近年の気象庁全球モデルの精度向上をリードしてきた。また、この分野の動向や研究に広い知識を有する同会員は、気象庁が発行する「数値予報研修テキスト」、「数値予報別冊報告」など多数の刊行物の執筆を担当し、その豊富な知識を全国の気象庁職員などに還元することで、若手の育成にも努めてきた。

松村会員は、これらの豊富な経験と知識を活かし、気象学会の活動と運営に貢献することが期待される。以上のことから、松村会員を理事候補として推薦する。

### ○ 東北地区

候補者：宇平 幸一 会員

生年月日：1954年5月18日

所属：気象庁仙台管区気象台

推薦理由：

宇平会員は、気象庁入庁後、鹿児島地方気象台での観測業務をはじめ気象研究所やJAMSTECにおいて研究活動に従事するなど、幅広く活動してきた。最近気象庁本庁で全

国的な視点から防災業務の最前線で活躍してきたが、特に富士山ハザードマップの作成や火山ガスのシミュレーションに係わり、防災対応のあり方について見識が深い。

この春から（仙台管区技術部長として）気象観測や予報、気象防災業務の推進に指導力を発揮するとともに、地域の気象特性を踏まえた気象予報・防災、地球環境問題等に係わる技術開発に指導力を発揮して、東北地方の気象業務の発展に主要な役割を果たすことになる。こうした経験や知識を活かして今後、気象学会の発展並びに東北地区の活動や運営に多大な貢献が期待される。拠って宇平会員を理事候補として推薦する。

#### ○ 中部地区

候補者：湯田 憲一会員

生年月日：1949年8月5日

所属：気象庁名古屋地方気象台

推薦理由：

湯田会員は、気象庁において中期予報、長期予報に長年携ってきた。特に気象庁気候情報課においては季節予報業務を指揮し、予報精度の向上、気象モデルの活用、天候情報の充実など、季節予報業務の基盤整備に尽力した。その後、福岡管区気象台では、地方における広範囲の気象防災行政を担当・指導したのち、気象庁観測部においては、的確な天気予報や注意報・警報などの基盤である気象観測全般にわたる業務の改善を推進した。

このように湯田会員は多岐にわたる分野で指導的な働きをしており、過去には九州支部で第31期の地区理事の経験もあり、これらの知識と経験をもとに学会活動での大いなる貢献、ならびに中部地区の学会活動と運営における活躍が期待される。拠って湯田会員を理事候補として推薦する。

#### ○ 沖縄地区

候補者：中村 誠臣会員

生年月日：1954年11月25日

所属：気象庁沖縄気象台

推薦理由：

中村会員は、平成16年4月に沖縄気象台次長に就任し、沖縄管内における予報、観測業務等の技術部門の指導・監督者として業務に従事している。中村会員はこれまで、福岡管区気象台、気象庁予報部数値予報課や予報課で勤務し、予報作業や技術開発に従事してきた。この間、気象予報業務分野で多くの業績を重ねてきており、また気象学の広く、深い知識を有している。

気象学会関連では、平成10年～11年に本部常任理事を務めて学会活動を支え、現在は沖縄支部の理事として学会活動で大きな指導的役割を果たしており、沖縄地区理事として今後も気象学会発展のために活躍することが期待できる。以上のことから、中村会員を理事候補として推薦する。

## 議案 6. 2005 年度事業計画 (案)

従来の事業に加え、2005 年度は以下の事業を重点的に実施する。

- (1) 2007 年度の学会創立 125 周年記念行事の実施のために、「準備委員会」を立ち上げ記念事業の具体的な検討を始める。
- (2) 国際学術交流の一環として、日本・中国・韓国気象学会共催による第 1 回国際シンポジウムを開催する。
- (3) 2005 年 1 月創刊の英文レター誌「SOLA」の充実・発展に努める。
- (4) 大会の開催に関して、大会講演予稿集及び参加費等について見直しを進める。

### 1. 機関誌等の刊行

- (1) 天気：52 巻 4 号～53 巻 3 号
- (2) 気象集誌：83 巻 2 号～84 巻 1 号
- (3) 英文レター誌 SOLA：第 1～2 巻
- (4) 気象研究ノート：208 号～210 号
- (5) 大会講演予稿集：  
春季大会 87 号、秋季大会 88 号
- (6) 電子ジャーナル版：天気、気象集誌

### 2. 会議等の開催

- (1) 通常総会 2005 年度総会 (5 月 17 日)
- (2) 理事会 3 回 (5 月、10 月、3 月)
- (3) 常任理事会 11 回
- (4) 評議員会 1 回 (3 月)
- (5) 監事会 1 回 (4 月)

### 3. 各委員会等の活動

- (1) 天気編集委員会
- (2) 気象集誌編集委員会
- (3) SOLA 編集委員会
- (4) 気象研究ノート編集委員会
- (5) 総合計画委員会
- (6) 講演企画委員会
- (7) 教育と普及委員会
- (8) 学会賞候補者推薦委員会等
- (9) 国際学術交流委員会
- (10) 電子情報委員会
- (11) 用語検討委員会
- (12) 地球環境問題委員会
- (13) 名誉会員推薦委員会
- (14) 日本・中国・韓国気象学会共催による第 1 回国際シンポジウム組織委員会

(15) 125 周年記念行事準備委員会

### 4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会  
期日：2005 年 5 月 15 (日)～18 日 (水)  
会場：東京大学本郷キャンパス (担当：東京大学)  
シンポジウム、5 月 15 日 (日)  
題名：地球環境の進化と気候変動
  - (2) 秋季大会  
期日：2005 年 11 月 20 (日)～22 日 (火)  
会場：神戸市 神戸大学  
(担当：関西支部)  
シンポジウム日程：未定  
題名：未定
  - (3) 研究連絡会  
ア メソ気象研究連絡会  
イ オゾン研究連絡会  
ウ 大気海洋陸面相互作用研究連絡会  
エ IGBP/GAIM 研究連絡会  
オ 極域・寒冷域研究連絡会  
カ 気象教育研究連絡会  
キ 非静力学数値モデル研究連絡会  
ク 地球観測衛星研究連絡会  
ケ 天気予報研究連絡会
  - (4) 月例会  
ア 山の気象シンポジウム  
イ 長期予報と大気大循環  
ウ レーダー気象
  - (5) 気象若手会「夏の学校」支援
- ### 5. 研究業績の表彰
- (1) 日本気象学会賞
  - (2) 藤原賞
  - (3) 山本・正野論文賞
  - (4) 堀内賞
  - (5) 奨励賞
- ### 6. 支部研究活動
- (1) 北海道支部  
1 回目：2005 年 6 月 3 日 (札幌)  
2 回目：2005 年 12 月上旬 (札幌)
  - (2) 東北支部  
期日等：2005 年 11 月 (仙台) 予定
  - (3) 中部支部 (第 21 回研究会)  
期日等：2005 年 11 月予定

- (4) 関西支部  
 期日等：2005年6月（大阪）予定  
 期日等：2005年11月（広島）予定  
 期日等：2005年11月（高松）予定  
 期日等：2006年2月（神戸）予定
- (5) 九州支部  
 期日：2006年春の予定
- (6) 沖縄支部（第34回例会）  
 期日等：2005年11月（那覇）予定
7. 普及活動
- (1) 本部  
 7 第39回夏季大学  
 期日：2005年8月5（金）-7（日）  
 題目：台風・集中豪雨  
 1 気象技術講習会（共催）  
 期日：未定  
 題目：未定
- (2) 北海道支部  
 7 第23回夏季大学  
 期日：2005年7月予定  
 題目：新しい気象  
 1 気象講演会  
 期日：2005年10月8日（稚内市）  
 題目：宗谷の強風一身を守る知恵と活かす知恵ー
- (3) 東北支部  
 気象講演会  
 期日：2005年11月13日（日）  
 場所：盛岡市  
 題目：新しき“イーハトーブ”建設に挑むプロジェクト盛岡
- (4) 中部支部  
 第12回公開気象講座  
 期日：2005年8月予定  
 題目：未定
- (5) 関西支部  
 第27回夏季大学  
 期日：2005年7月上旬～8月上旬の2日間  
 題目：台風（予定）
- (6) 九州支部  
 気象教室  
 期日：2005年夏の予定  
 題目：未定
- (7) 沖縄支部  
 7 防災気象講演会  
 期日：2005年6月（浦添市）  
 題目：未定  
 1 親子のお天気教室  
 期日：2005年7月（浦添市）  
 題目：未定  
 ウ 気候講演会  
 期日：2005年7月（那覇市）  
 題目：未定
8. 対外活動（他学会との共催等）
- (1) 第42回理工学における同位元素研究発表会  
 (2) 第22回エアロゾル科学・技術研究討論会  
 (3) 第55回理論応用力学講演会  
 (4) 第52回風に関するシンポジウム（幹事学会担当）
9. 国際学術交流活動
- (1) 日本・中国・韓国気象学会共催による第1回国際シンポジウムの開催（2005年5月13-14日）  
 (2) 国際交流事業への支援・補助
10. 電子情報関連
- (1) 学会ホームページ管理運営  
 (2) メールリストの管理運営
11. その他
- (1) 地球物理学関連学会会長懇談会参加  
 (2) 地球環境科学関連学会協議会参加  
 (3) 日本地球惑星科学連合設立準備会参加
12. 事務局の構成
- 事務局長 島村泰正  
 事務局員 遠藤和子  
 ” 渡辺征夫

## 議案 7. 2005 年度収支予算（案）

2005 年度収支予算（案）の特徴は以下の通りである。

- (1) 個人会員、団体会員の減少傾向は当面続くものと考えられる。また、本年から始まった高年会員の会費割引制の影響を考慮して、会費収入を更に少なく見積もった（2004 年度実績より 200 万円減）。
- (2) 支部交付金の基準の見直しにより交付金の増額（同、90 万円増）を計上した。
- (3) 収入減への対策として、主として、気象研究ノートの発刊増（同、110 万円増）による増収のほか、機関誌の印刷費・送料（同、140 万円減）、人件費（同、340 万円減）、事務局関連経費（同、70 万円減）の縮減を行うことにより収支の均衡を計った。

### 7-1 収支予算総括表

収支予算書総括表  
2005年 4月 1日から2006年 3月31日まで

(社)日本気象学会				(単位：円)		
科 目				合 計	公益会計	収益会計
【収入の部】						
会 費	收 入			35,490,000	35,490,000	0
基 本 財 産 運 用				70,000	70,000	0
事 業 收 入				46,290,000	28,850,000	17,440,000
補 助 金 收 入				4,900,000	4,900,000	0
寄 付 金 收 入				30,000	30,000	0
雑 収 入				262,000	242,000	20,000
当期収入合計(A)				87,042,000	69,582,000	17,460,000
前 期 繰 越 収 支 差 額				14,027,548	9,270,353	4,757,195
収入合計(B)				101,069,548	78,852,353	22,217,195
【支出の部】						
事 業 費				60,560,000	53,200,000	7,360,000
管 理 費				24,312,000	18,130,000	6,182,000
引 当 金 繰 入				800,000	800,000	0
法 人 税 等				1,150,000	0	1,150,000
予 備 費				220,000	170,000	50,000
当期支出合計(C)				87,042,000	72,300,000	14,742,000
当期収支差額(A)-(C)				0	△ 2,718,000	2,718,000
次期繰越収支差額(B)-(C)				14,027,548	6,552,353	7,475,195

## 7-2 収支予算書

## 収 支 予 算 書

2005年 4月 1日から2006年 3月31日まで

(社)日本気象学会  
公益会計

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備考
<b>【収入の部】</b>				
会 費 収 入	[ 35,490,000]	[ 38,139,000]	[△ 2,649,000]	
通 常 会 員 会 費	6,360,000	29,331,000	△ 22,971,000	
特 別 会 員 会 費	22,020,000	1,050,000	20,970,000	
団 体 会 員 会 費	4,600,000	5,108,000	△ 508,000	
賛 助 会 員 会 費	2,510,000	2,650,000	△ 140,000	
基 本 財 産 運 用	[ 70,000]	[ 89,000]	[△ 19,000]	
基 本 金	20,000	38,000	△ 18,000	
藤 本 原 賞	2,000	1,000	1,000	
山 本 ・ 正 野 論 文 賞	16,000	16,000	0	
堀 内 賞	2,000	1,000	1,000	
国 際 交 流 基 金	30,000	33,000	△ 3,000	
事 業 収 入	[ 28,850,000]	[ 21,580,000]	[ 7,270,000]	
天 象 集 気 誌	1,030,000	1,043,000	△ 13,000	
天 象 集 気 誌	12,160,000	8,932,000	3,228,000	
S O L A	4,800,000	900,000	3,900,000	
予 稿 集	6,020,000	6,027,000	△ 7,000	
大 会 開 催	4,170,000	3,857,000	313,000	
教 育 と 普 及	640,000	790,000	△ 150,000	
そ の 他 事 業 収 入	30,000	31,000	△ 1,000	
補 助 金 収 入 費	[ 4,900,000]	[ 4,900,000]	[ 0]	
科 学 研 究 費	4,900,000	4,900,000	0	
寄 付 金 収 入 金	[ 30,000]	[ 0]	[ 30,000]	
寄 付 金 付 金	30,000	0	30,000	
雑 収 入	[ 242,000]	[ 614,000]	[△ 372,000]	
受 取 利 息	2,000	2,000	0	
著 作 権 複 写 許 可 料 他	100,000	347,000	△ 247,000	
そ の 他	140,000	265,000	△ 125,000	
当期収入合計(A)	69,582,000	65,322,000	4,260,000	
前 期 繰 越 収 支 差 額	9,270,353	13,462,836	△ 4,192,483	
収入合計(B)	78,852,353	78,784,836	67,517	
<b>【支出の部】</b>				
事 業 費	[ 53,200,000]	[ 52,246,000]	[ 954,000]	
天 象 集 気 誌	19,880,000	23,920,000	△ 4,040,000	
天 象 集 気 誌	18,680,000	15,242,000	3,438,000	
S O L A	4,800,000	1,600,000	3,200,000	
予 稿 集	1,790,000	2,223,000	△ 433,000	
大 会 開 催	4,500,000	5,668,000	△ 1,168,000	
教 育 と 普 及	570,000	774,000	△ 204,000	
表 彰 ・ 奨 励	1,120,000	1,986,000	△ 866,000	
国 際 学 術 交 流 会	540,000	624,000	△ 84,000	
そ の 他 委 員 会	360,000	0	360,000	
研 究 連 絡 会	410,000	186,000	224,000	
そ の 他 事 業 費	550,000	23,000	527,000	
管 理 費	[ 18,130,000]	[ 20,079,000]	[△ 1,949,000]	
人 事 費	9,240,000	12,104,000	△ 2,864,000	
事 務 局 関 連 経 費	3,315,000	4,226,000	△ 911,000	
電 子 情 報	10,000	116,000	△ 106,000	
電 算 機 開 発 管 理	870,000	282,000	588,000	
総 会 役 員 会	1,590,000	1,327,000	263,000	
選 挙 費	188,000	0	188,000	
支 部 交 付 金	2,557,000	1,802,000	755,000	
租 税 公 課	360,000	222,000	138,000	
引 当 金 繰 入	[ 800,000]	[ 0]	[ 800,000]	
退 職 引 当 金	800,000	0	800,000	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備考
予 備 費	[ 170,000]	[ 200,000]	[△ 30,000]	
当期支出合計(C)	72,300,000	72,525,000	△ 225,000	
当期収支差額(A)-(C)	△ 2,718,000	△ 7,203,000	4,485,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	6,552,353	6,259,836	292,517	

## 収 支 予 算 書

2005年 4月 1日から2006年 3月31日まで

(社)日本気象学会

収益会計

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備考
【収入の部】				
事 業 収 入	[ 17,440,000]	[ 18,892,000]	[△ 1,452,000]	
天 気 象 集 誌	3,220,000	5,362,000	△ 2,142,000	
天 気 象 研 究 ノ ー ト	2,090,000	2,508,000	△ 418,000	
予 稿 集	8,580,000	7,541,000	1,039,000	
書 店 扱 い	500,000	680,000	△ 180,000	
雑 収 入	3,050,000	2,801,000	249,000	
著 作 権 複 写 許 可 料	[ 20,000]	[ 44,000]	[△ 24,000]	
	20,000	44,000	△ 24,000	
当期収入合計(A)	17,460,000	18,936,000	△ 1,476,000	
前 期 繰 越 収 支 差 額	4,757,195	3,372,482	1,384,713	
収入合計(B)	22,217,195	22,308,482	△ 91,287	
【支出の部】				
事 業 費	[ 7,360,000]	[ 7,418,000]	[△ 58,000]	
天 気 象 集 誌	1,400,000	2,521,000	△ 1,121,000	
天 気 象 研 究 ノ ー ト	1,200,000	1,137,000	63,000	
予 稿 集	4,740,000	3,725,000	1,015,000	
	20,000	35,000	△ 15,000	
管 理 費	[ 6,182,000]	[ 6,895,000]	[△ 713,000]	
人 事 局 関 連 経 費	3,080,000	4,018,000	△ 938,000	
電 算 機 開 発 管 理 費	1,105,000	1,409,000	△ 304,000	
	3,000	39,000	△ 36,000	
電 算 機 開 発 管 理 費	290,000	94,000	196,000	
総 会 役 員 会	530,000	442,000	88,000	
選 挙 費 用	62,000	0	62,000	
支 部 交 付 金	852,000	617,000	235,000	
租 税 公 課	260,000	276,000	△ 16,000	
法 人 税 等	[ 1,150,000]	[ 1,000,000]	[ 150,000]	
予 備 費	[ 50,000]	[ 100,000]	[△ 50,000]	
当期支出合計(C)	14,742,000	15,413,000	△ 671,000	
当期収支差額(A)-(C)	2,718,000	3,523,000	△ 805,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	7,475,195	6,895,482	579,713	